

## 感染性胃腸炎の集団発生について

稲毛区の民間保育園において、感染性胃腸炎の集団発生がありましたので、感染予防・注意喚起の観点からお知らせします。

感染性胃腸炎は、年間を通して発生しますが、特に冬季に多く発生し、学校、保育所、社会福祉施設など集団で生活する施設では、集団感染になる場合がありますので、注意が必要です。

### 1 施設

稲毛区の民間保育園

### 2 発症者

#### (1) 発症者数

35人（2月10日（水）時点）

※内 訳

園児31人、職員4人

#### (2) 主な症状

嘔吐、下痢、腹痛等

### 3 発症状況等

2月3日（水） 市保健所に、複数の園児が胃腸炎症状を呈している旨の連絡があった。

2月4日（木） 現地調査を実施し発症状況等の確認を行うとともに、施設に対し、消毒や手洗いの徹底などを指導した。

2月9日（火） 発症患者が合計34人となり、市環境保健研究所で実施した便の検査において4検体からノロウイルスが検出されたことから、市保健所は、当該事例をノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団感染であると判断した。

### 4 市内における感染性胃腸炎集団発生件数

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
発生件数	18	16	2

（※令和2年度は令和3年2月10日現在で本件を含む）

## 【感染性胃腸炎について】

### 1 感染性胃腸炎の原因となるウイルスは？

ノロウイルスやロタウイルスなどで、ヒトの小腸で増殖し、嘔吐や下痢等を起こすウイルスです。冬は、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が多くなります。

### 2 症状は？

吐き気、嘔吐、下痢、腹痛が主症状で、発熱（38℃以下）を伴う場合もあります。感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。

### 3 潜伏期間は？

- ・ 24～48時間で、発症後、通常3日以内で回復します。
- ・ 健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することもあります。

### 4 感染経路は？

- ・ 感染した人の便や吐物に触れた手指などを介して、ウイルスが口に入ると感染します。
- ・ 便や吐物が乾燥して、細かな塵と舞い上がり、その塵と一緒にウイルスを体内に取り込んでも感染します。
- ・ 感染した人が、調理によって食品を汚染すると、その食品を食べることによって感染します。
- ・ ノロウイルスに汚染されたカキやシジミなどの二枚貝を、生または不十分な加熱処理で食べると感染します。

### 5 治療は？

- ・ ノロウイルスに効果のある抗ウイルス薬はありません。
- ・ 脱水症状がひどい場合は、輸液を行うなど対症療法が行われます。
- ・ 症状がなくなったあとも、1～2週間ほど便中にウイルスが排出されるため、二次感染に注意が必要です。

### 6 予防対策は？

- ・ 吐物・便等による汚染は、感染の原因となるため、速やかに適切に処理し消毒しましょう。
- ・ 用便後、調理作業の前後にはよく手を洗いましょう。
- ・ 調理をする人は、下痢や風邪などの症状があるときは、食品を直接取り扱わないようにしましょう。
- ・ カキ等の二枚貝は、十分に加熱してから食べるようにしましょう。（85～90℃で90秒以上）